

「非トルエン・キシレン塗料」 エポキシ樹脂エマルジョンプライマー

# 湿潤面用プライマー

水希釈形

JIS K 5970 下塗り・中塗り F☆☆☆☆



神東塗料

「湿潤面用プライマー」はモルタルおよびセメントコンクリート床面に対して付着性の優れる2液形のエポキシ樹脂エマルジョンプライマーです。シントーフロアーシリーズの各種塗料との付着性が優れていますので、新設および塗替用プライマーとして最適です。

## 1. 特 長

- モルタル・コンクリート床面への付着性が優れています。エポキシ樹脂エマルジョンのため、エポキシ樹脂の付着の良さと、水とのなじみの良さを併せ持っていますので、軽度の湿潤面への施工が可能です。
- シントーフロアーシリーズの各種上塗塗料との付着性が良好で、どの上塗塗料のプライマーとしても使用できます。また、アクリル系旧塗膜に対して、溶剤形エポキシ樹脂塗料・ウレタン樹脂塗料で塗り替えたい場合のプライマーとして最適です。
- 作業性が良好です。  
水系ですので、水で希釈・洗浄ができ、はけ・ローラーでの塗装作業性が優れています。
- 火災の危険が少なく安全です。  
水性ですので、溶剤の臭いや火災の危険性が少なく安全です。
- クリヤーシーラーと比べて、サーフェサー効果に優れるため様々な上塗り材との組み合わせで美しく仕上がります。

## 2. 用 途

- シントーフロアーシリーズの各種塗料（スイセイユカトップAU・スイセイユカトップエポ・スイセイユカトップ・ユカトップAU#600・ユカトップE#400・ユカトップA-EX・ロードカラー#200・ユカトップローラーエポ・ユカトップエポハード・ユカトップUハード）のプライマーとして使用できます。
- アクリル系などの熱可塑性塗料（ロードカラー#200・ユカトップA-EX・水性ロードカラーIIなど）が塗られていて、エポキシやウレタン系の溶剤形塗料（ユカトップE#400・ユカトップAU#600など）で塗替えたいとき、従来は不可能でしたが湿潤面用プライマーを使用することで塗替えが可能になります。（弊社までお問合せ願います。）

### 3. 使用 方 法

・新設・既設コンクリート・モルタルの場合

溶剤形の場合

工 程	塗 料 名 ( 希 積 剤 )	希 積 率 (%)	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
素地調整	1) モルタル、コンクリートの含水率10%以下、pH10以下を確認する。(デジタル直読式水分計の場合は、含水率5%以下を確認する。) 2) 全面ポリッシャー、サンダー等で処理し、表面に付着しているエフロレッセンス、脆弱部素地(レイタンス)、突起物、浮き部分を除去する。 3) 付着している汚れ、グリス、油脂等はユカトップ油面クリーナーを用いて取り除き、水洗いし、下地を十分乾燥させる。 4) ごみ、ほこり等は清掃して取り除く。 5) 下地の凸部は除去し、凹部へアークラック等はユカトップ速乾パテ等で補修する。					
下 塗	湿潤面用プライマー (水道水)	10~15	0.12~0.15	1	16時間以上 7日以内	はけ ローラー
上 塗	ユカトップAU#600 (ユカトップUシンナー)	20	0.15~0.17	2	3時間以上 7日以内	はけ ローラー
	ユカトップE#400 (ユカトップEシンナー)	5~10	0.15	2	1日以上 7日以内	はけ ローラー
	ユカトップA-E X (ユカトップAシンナー)	20~40	0.15	2	2時間以上 7日以内	はけ ローラー

無溶剤形の場合

工 程	塗 料 名 ( 希 積 剤 )	希 積 率 (%)	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
素地調整	溶剤形と同様					
下 塗	湿潤面用プライマー (水道水)	10~15	0.12~0.15	1	16時間以上 7日以内	はけ ローラー
中 塗	ユカトップエポハード SPフローア骨材No.7	無希積	0.8 0.4	1	16時間以上 7日以内	金ゴテ
上 塗	ユカトップエポハード	無希積	0.8	1	—	金ゴテ

水系の場合

工 程	塗 料 名 ( 希 積 剤 )	希 積 率 (%)	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
素地調整	溶剤形と同様					
下 塗	湿潤面用プライマー (水道水)	10~15	0.12~0.15	1	3時間以上 7日以内	はけ ローラー
上 塗	スイセイユカトップAU (水道水)	5~10	0.12~0.15	2	3時間以上 1日以内	はけ ローラー
	スイセイユカトップエポ (水道水)	0~5	0.15	2	12時間以上 7日以内	はけ ローラー
	スイセイユカトップ (水道水)	0~5	0.15	2	2時間以上 7日以内	はけ ローラー

※上塗りについては各塗料のカタログを参照してください。

- ・アクリル系旧塗膜（ロードカラー#200・ユカトップA-E X・水性ロードカラーII）の塗替えをエポキシ系またはウレタン系の塗料で行なう場合

工 程	塗 料 名 ( 希 積 剤 )	希積率 (%)	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
素地調整	1) 付着している汚れ、グリス、油脂等はユカトップ油面クリーナー等を用いて取り除き、水洗いし、下地を十分に乾燥させる。 2) 旧塗膜の脆弱部、浮き塗膜等は、ケレン除去する。					
下 塗	湿潤面用プライマー (水道水)	10~15	0.15	1※	16時間以上 7日以内	はけ ローラー
上 塗	ユカトップAU#600 (ユカトップUシンナー)	20	0.15	2	3時間以上 7日以内	はけ ローラー
	ユカトップE#400 (ユカトップEシンナー)	5~10	0.15	2	1日以上 7日以内	はけ ローラー
	ユカトップローラーエポ	無希積	0.65	1	—	短毛 ローラー

※上塗り塗装時に、旧塗膜の状況によりチヂミ、ワレ等の不具合が発生する場合があります。  
発生した際には、除去し、下塗りから再度塗装を行ってください。

#### 4. 塗装時の注意事項

- ・2液形の塗料ですので、A剤とB剤の混合は十分に行なってください。
- ・冬期低温時は1日以上乾燥後に上塗り塗装してください。乾燥が不十分な場合、上塗り塗膜のヒビワレの原因となります。
- ・1セット全てを使用しない場合は、必ずはかりを用いてA剤とB剤を計量し、正しい混合比で使用してください。
- ・気温0℃以下、または50℃以上での保管・運搬は絶対に避けてください。
- ・気温5℃以下・相対湿度85%以上での塗装は乾燥が遅くなりますので塗装を避けてください。
- ・水系塗料ですので、シンナー類は使用しないでください。
- ・施工中、乾燥中は室内換気を十分に行ってください。

#### 5. 性 状

項目	塗料	A 剤	B 剤	混合物
外 観		白色粘稠液	白色粘稠液	白色粘稠液
密 度 (20℃)		1.44	1.35	1.42
粘 度 (25℃)		90KU	72KU	85KU
混 合 比 (重量)		2	1	—
希 積 率 (水)		—	—	10~15%
使 用 量		—	—	0.12~0.15kg/m <sup>2</sup>
使用可能時間	10℃	—	—	5時間
	20℃	—	—	2時間
	30℃	—	—	1時間
※ 上塗り可能時間 (塗装間隔)	10℃	—	—	20時間 (24時間)
	20℃	—	—	16時間 (3時間)
	30℃	—	—	5時間 (2時間)

注) 上記の数値は標準値です。

※湿度・換気・素地の湿潤度合によって少し異なります。

( ) 内は水系上塗り塗料を使用する場合の数値です。

## 6. 商品構成

商品名	荷姿	A剤	B剤	混合比
湿潤面用プライマー	15kgセット	10kg	5 kg	A剤：B剤＝2：1
	2.4kgセット	1.6kg	0.8kg	

## 7. 取り扱いに関する注意事項

### 【調合】

1. 塗料の開缶は使用する直前に行い、開缶したものは原則としてその日のうちに使用してください。
2. 塗料は事前に十分攪拌を行い、均一化してからご使用ください。2液形の場合もA剤とB剤をそれぞれ攪拌してから混合し、均一な状態になるまで攪拌してから使用してください。
3. 少量混合の場合は、必ず計量して混合してください。
4. 希釈は規定範囲内で行ってください。薄めすぎると隠ぺい性不足や仕上り不良などの不具合が生じます。
5. 塗料混合後は、使用可能時間内にご使用ください。特に上塗り塗料は使用可能時間を過ぎますと塗面に艶引けなどの不具合が生じます。
6. 他品種、他品名の塗料との混合は厳禁です。
7. 水性塗料は水道水で洗浄可能ですが、落ちにくいときはラッカーシンナーなどをご使用ください。

### 【塗装】

1. 気温5℃以下、湿度85%以上のときは塗装禁止です。禁止条件での塗装は乾燥遅延や付着不良など塗膜欠陥が生じやすくなります。
2. 被塗面に結露がある場合や塗装後短時間で降雨、結露が予測される場合の塗装は避けてください。
3. 被塗物の表面温度が50℃以上の場合、塗装を避けてください。
4. 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。
5. 塗料飛散防止のため、必ず養生を行ってください。
6. 塗装中および塗料の取り扱いには必要な保護具（帽子、ヘルメット、保護めがね、マスク、手袋など）を使用して作業を行ってください。
7. 吸入に関する危険物有害性の表示がある塗料を塗装する場合は、局所排気装置などを設置し、作業時には有機ガス用の防毒マスクなどを着用して作業を行ってください。
8. シーリング面への塗装は、塗膜の割れ、汚れ、剥れなどの不具合発生の元となるため避けてください。やむを得ず塗装する場合は、逆プライマー塗装などの適切な処理を行ってください。

### 【緊急時の対応】

1. 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
2. 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
3. 蒸気、ガス等を吸入した場合には、清浄な空気のある場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
4. 飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
5. 容器からこぼれた場合は布でふき取り、その布は水に浸した状態で容器に保管してください。
6. 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。

### 【廃棄】

1. 使用済みの塗料缶や塗料が付着したウエス、残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください。

### 【保管】

1. 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
2. 子供の手の届かない場所に保管してください。
3. 塗料の保管は関連法規を遵守してください。
4. 容器はつり上げないでください。

※安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）を参照してください。

※必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。

※ご不明な点に関しましては、弊社問い合わせ先までご連絡願います。



くらしゆたかにあざやかに 未来を創造するコーティング

**神東塗料**

本社 〒661-8511 兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号  
☎(06)6426-3355(代) FAX(06)6429-6188(代)

製品に関するお問い合わせ

北海道 ☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199

北陸 ☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315

四国 ☎(087)841-1251 FAX(087)843-3108

東北 ☎(022)285-7915 FAX(022)285-7813

名古屋 ☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318

九州 ☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777

東京 ☎(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553

大阪 ☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268

静岡 ☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091

中国 ☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821

<https://www.shintopaint.co.jp/>

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承ください。